

# 名教スタッフ版

## よめよめグランプリ

名前

手島 和男

★読んだ本について書いてみよう。

ひ	つ
日	付
23	6
日	月

ペ	す
ー	う
ジ	数
1	
6	
4	

①本の題名

問題な日本語（大修館書店）

②本の作者

北原保雄 編

③私のおすすめの本を、紹介します。

発売当時、大変話題になった本です。広告などを見て興味を持ちました。

自分では全く意識していなかった言葉も、実は「問題な日本語」だった、という発見もありました。

若者たちの使う言葉の中に、自分が今まで聞いたことや、使ったことがなかった言葉や言い回しが多くなっていると感じていました。それらの言葉の中には、ちょっと聴きづらいものもあったので気になりました。

自分が使っている言葉にどんな意味があるのか、ということを知っておくことは大切です。言葉は使い方に注意しないと、自分の考えをうまく伝えられないだけでなく、相手を不快な気持ちにさせたりすることもあるからです。この本を読むと、今までより言葉を意識するようになると思います。

たとえば、「二個上の先輩から連絡があった。」という言い方は、今でもまったくなじめません。でも、「きもい」「なにげに」という言葉は、初め抵抗がありました。今は自分でも時々使うようになっていきます。

みなさんに少しでも言葉に関心を持ってほしいので、この本をお勧めします。

この本は「問題な日本語」を質問形式で紹介し、それに詳しく、分かりやすい説明で答えるという形で書かれています。答えを読んでみると、その言葉の使い方が正しいかどうかということを知るだけでなく、いろいろな言葉の知識が増え、自然に言葉の勉強が出来る感じ楽しいです。

ぜひ、読んでみてください。